

教育と文化



仕事も生活も充実を

「時間は有限、

時間の使い方は自分次第」

● 問合先 男女協働推進課

男女協働推進係 ☎ 2115

最近、「働き方改革」という言葉を目にする機会が増えましたが、これは、2016年から取り組まれている国の経済政策の一つです。具体的には長時間労働の是正や職場環境の整備などの取り組みで、すべての働く人たちが、仕事と自分のやりたいことを両立できる環境づくりが進められています。

私たちも、仕事と自分のやりたいこととの両立ができていくかどうか、体と心が休息できる時間を過ごしているかどうか、自分自身の働き方を見直すことが必要です。残業が当たり前という仕事の仕方を続けていると、育児や介護、病気など、急な生活の変化に対応することができません。今のうちから、自分の働き方について考えておくことが大切です。

また、仕事で高い成果を上げるためには、広い視野や人脈が必要で、それらは仕事以

外の場で身につくことも少なくありません。仕事以外の場でのコミュニケーションや情報収集をする時間を過ごすことも、とても大切です。

しかし、私たちが自分のやりたいことを全部やりきれるほどに、時間は無限ではありません。有限な時間を上手に配分することが必要で、そのためには『段取り』を考えることが大切です。例えば、段取りを考えずにその時の都合で仕事をしていると、効率が悪いために時間内に済まずることができず、残業しなければならなくなります。そうなれば、当然自分がやりたいことに使える時間が少なくなってしまうます。そうならないように、段取りをよく考えて時間の使い方を工夫することが重要で、これは自分次第でできることです。

自分自身の働き方を見直して、仕事も生活も充実させましょう。

郷土の文化財

伊万里湾の歴史シリーズ③

● 問合先 生涯学習課文化財係 ☎ 3186

小島古墳

増大した伊万里湾の重要性

今回は、山代町久原にある小島古墳を紹介します。古墳は6世紀中頃に築造されたと考えられる前方後円墳です。小島古墳が所在する小島は、かつて沖合約400mに浮かぶ島でした。前方後円墳とは、平面形が鍵穴のような形をした古墳のことです。この形の古墳の被葬者は、ヤマト政権と強いつながりを持った有力者に限られます。

昭和47年に港湾開発と文化財保護の調整の過程で、市の教育委員会と郷土研究会が発掘調査を行いました。この調査で、墳丘の形状や石室構造などは詳細に確認できましたが、副葬品についてはすでに盗掘を受けていたため、全容はわかりませんでした。

古墳が前方後円墳である



↑小島古墳墳丘測量図

こと、離れ小島に石室の石材をわざわざ運んで築造していることなどから、小島古墳の被葬者はヤマト政権と深いつながりを持つ有力者だったと推測されます。また、前回紹介した夏崎古墳が円墳であることから、小島古墳の被葬者は、夏崎古墳の被葬者よりもヤマト政権とのつながりが深かった可能性も考えられます。

こうしたことは、小島古墳の時代には、夏崎古墳の時代以上に伊万里地域の重要性が増した可能性を示しています。